

暮らしの広場

がん 克服へ

[28] 工藤 明敏

■胃がん編

Q ピロリ菌の検査・治療には内視鏡が必要と言われました。

A ピロリ菌は胃がんの原因となるため、菌に感染しているかどうかを調べることは大変重要です。

菌は薬で簡単に治療することができですが、すでに胃がんになっている場合や、その後胃がんになる可能性が高いにも関わらず、菌がいなくなつたことで安心して、検査を

Q&A

ピロリ除菌も内視鏡 大切

受けない方が増えています。

慢性胃炎や胃潰瘍などの病気がある場合には、自覚症状があるなしにかかわらず、胃がんの発生リスクは高いと言えます。内視鏡検査によって胃の中の状態をよく把握したうえで、菌の治療を受けましょう。検査が楽な経鼻内視鏡、麻酔を用いた内視鏡など方法もさまざまです。

(阿知須共立病院消化器内科、鈴木千衣子)

Q 胃手術後の生活や食事で、気を付けることは何ですか。

A 退院後は徐々に手術前の生活に戻していくと良いでしょう。

食事の内容自体は以前と変わりありませんが、食品に偏りがないよういろいろな栄養のあるものを少なめに、よくかんで食べ、食後はすぐに横にならないようにしてください。また、脂肪分の取り過ぎ

や、寝る前の固形物摂取、空腹時に濃いコーヒを何杯も飲むことは避けましょう。

化学療法を行っている方は、味覚が変わったり、口内炎などの副作用が出る場合があります。口の中を清潔に保ち、食事でも刺激や酸味の強いものは避け、軟らかく消化の良いものにしてください。

(同外来看護主任、西村浄美)

Q 胃がん治療には費用はどれくらいかかるのでしょうか。

A 必要な費用は、病院に



内視鏡検査中の鈴木千衣子医師。小さな病変も見逃さない。家庭も大切にしている

支払う「治療費」▽入院中の食事代、差額ベッド代など「治療以外に病院に支払う費用」▽交通費、日用品など「病院以外に支払う費用」の三つに分けられます。

がんの進行度で治療費の額は大きく変わります。早期がんであれば、入院・手術に関する治療費以外はほとんどかかりません。進行がんの場合は、治療法が多岐にわたるためその都度費用がかかり、その費用について見通しが立てにくくなります。

双方とも、公的制度の「高額療養費制度」を使えば、治療費の支払いは一定額で済みます。ただ、原則として加入している保険者へ申請が必要です。

(同医事課、坂野京子)

◇ 「胃がん」編おわり

10月から「大腸がん」について掲載します。